

## 平成28年10月26日開催定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 平成28年10月26日（水）午後1時30分から午後2時35分  
開催場所 美祢図書館「視聴覚室」

出席委員  
岡崎 堅次 教育長  
前田 耕次 教育長職務代理者  
井上 敏雄 委員  
秋山 信登 委員  
金子 明美 委員

5人

出席教育委員会事務局職員  
金子 彰 事務局長  
千々松雅幸 // 教育総務課長  
長谷川 裕 // 学校教育課長  
古屋 敦子 // 生涯学習スポーツ推進課長  
井上 辰巳 // 文化財保護課長  
福屋 憲道 // 学校教育課主幹  
野尻 悟 // 教育総務課長補佐  
田中 義和 // 生涯学習スポーツ推進課長補佐  
神田 高宏 // 世界ジオパーク推進課長補佐  
石川 博之 // 美東事務所長

10人

### 開 会

#### 岡崎教育長

午後1時30分 委員全員の出席を確認し開会を告げ、署名委員に金子委員、前田委員を指名する。

#### 岡崎教育長

前回の会議録の承認について、事前に各委員へ配布された会議録への意見、質問を求める。

## 全員承認

### 岡崎教育長

行事関係について報告をする。時間の関係で、主なものを説明する。

9月24日、講師に山口香氏を呼んで美祢市民大学講座を開催した。チケットの売れ行き状況を確認しておけばよかったと思う。

9月27日、美祢市コミュニティ・スクール推進協議会を開催した。

10月4日、美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会を開催した。生涯学習フェスタに向けての話と情報交換を行った。

10月7日、市内小学校5・6年生全員が秋芳北部総合運動公園に集まっての体育祭を開催した。委員の皆様には御出席いただき、お礼申し上げます。

10月9日、秋吉国際芸術村で美祢カルスト子ども映画祭を開催した。100名以上の参加があった。私は所用により出席ができず、秋山委員に代理で挨拶をお願いした。

10月10日、市民体育祭ニュースポーツフェスティバルを開催した。その時の写真が11月市報の表紙を飾っている。

10月11日、県・市町教育長意見交換会が柳井市で開催された。新任教育長として下松市・宇部市・長門市・平生町・美祢市の教育長が紹介された。

10月15日、檜崎屋敷恩愛の碑除幕式と祝賀会が開催された。

10月16日、美祢市福祉の市が開催された。濡れるほどの雨ではなく、無事行われた。

10月18日、議会の本会議が開催された。午後、県市教育委員会協議会研修会がラポールゆやで開催された。教育委員の皆さんにも御出席いただいた。

10月19日、厚狭地区へき地・複式教育研修会が川東小学校で開催された。100人を超える参加で、いい研修会になった。

10月20日、美祢市戦没者追悼式が市民会館で開催された。午後、福岡県八女市からの研修視察を受け入れた。コミュニティ・スクールを立ち上げたいということで研修に来られた。また、大嶺小の視察もあった。

10月23日、美祢秋吉台カルストウォークと銅山まつりを開催した。

10月25日、山口県母のつどい大会が市民会館で開催された。

また、みね無銘塾やイングリッシュクラブ・ビレッジ、ジオ視察対応等も行っている。

「その他」については、特になし。

以上で報告を終わる。

## 岡崎教育長

報告第1号「美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱及び解嘱」について説明を求める。

## 古屋生涯学習スポーツ推進課長

美祢ロータリークラブから推薦のあった委員に異動があったので、平成28年7月1日付けで1名の委員を解嘱し、同日付けで1名の委員を委嘱した。任期は委嘱日から平成30年3月31日までである。

これについて、美祢市教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により、平成28年7月1日に臨時代理したので、同条第2項の規定により報告する。

## 岡崎教育長

特に質疑がないことを確認し、報告第1号は承認される。

## 岡崎教育長

続いて、「一般の小・中学生の状況」について協議を行う。

## 岡崎教育長

計画訪問も終わりに近づいている。私も今年の3月までは、学校にいた。色々な先生の意見も聞いてきた。問題のある子どもたちについては、色々と論議がされるが、一般の児童・生徒の特長を7点にまとめてみた。

また、委員の皆さんのご意見をお願いします。

1点目は、物を大切にしない子どもである。落とし物、置き忘れ、放置物が絶えない。必要な物だったら、すぐにも買ってもらえるという生活のなかで、物の有り難さが薄れてきていると感じる。他人から物を借りてもそのままにしたり、用が済めば放置することも見受けられる。

2点目は、さわらぬ神にたたりなし。関係なければ知らん顔をする子どもである。例えば、足元にゴミが散らかっていても苦にならない。先生が指摘しても「私が捨てたんじゃない。」と拾おうともしない。こういう子どもが増えたような気がする。私は、学校経営をしてきたなかで、教育環境が大事だと考え、ゴミ一つない学校をめざしていた。子どもたちにも、ゴミを一つ拾えばゴミが一つなくなるという意識を持とうということを話してきた。

3点目は、言葉の乱れ、略語を使う子どもである。略語も略語でなくなった。テレビの影響もあると思うが、略語も日常語になってきているような気がする。略語が世の中を飛び交っている。

4点目は、思いやりを求めているながら、思いやりを持っていない子どもである。相手が嫌がっているのに、「ふざけているだけです。」とか「冗談です。」と簡単に片づけてしまう。いじめのスタートラインにあるような気がする。授業中でも、自分のおしゃべりが、静かに聞こうとしている子どもの迷惑になっていることに気が付いていない。

5点目は、形を過度に気にし、それでいて相手の自尊心を傷つけるような表

現を構わずする子どもである。身体的な特徴を平気で言ってみたりすることがあるのではないかと思う。自分が傷つけられることについては意識過剰で、相手が傷つくようなことを平気で言ったりするところがある。

6点目は、スマホが友達との命綱になっている子どもである。今やスマホは必需品になっていて、電話やメールでなら本音の話ができる親友と思っているくせに、電話先の相手と無責任な会話のやりとりをする。最近では、LINE外しや匿名性を利用したツイッターへの書き込みを平気でしながら、いざ自分のことが書かれたら友達不信に陥って学校に行けなくなるところもある。

7点目は、自分を積極的に開拓していく姿勢の弱い子どもである。受身的に育てられたからかもしれないが、粘り強さと言うか食欲さが薄くなったような気がする。ちょっとやってみて、ちょっと考えてみて、うまくいかないと、あきらめて投げ出す。自ら挑戦し続ける意欲が弱くなってきたような気がする。

こういったことを感じてきた。委員の皆さんの意見をお願いします。

#### 岡崎教育長

スマホを今、中学生はどれくらい持っているか。

#### 長谷川学校教育課長

半数を超えている。美祿市はそれほどではないが、小学生もこれに迫る勢いである。

#### 井上委員

スマホについては、男子より女子のほうが、スマホで連絡を取りたがっている。女子のほうが低年齢化が進んでいるような気がする。

子どもたちが相手の立場になれないのが原因ではないかと思う。自己中心的なのかもしれないが、親切がない。そういったことを、昔は家庭で教えていた。学校で、それに特化した動きはないと思う。道徳の授業でやっていければと思う。

#### 岡崎教育長

学校で、もっと想像しなさいと言っていた。想像する力は、人間が持つ凄い能力である。こう言ったら、こう思うのではないかと想像する力を磨いていく必要があると思う。

#### 井上委員

具体的な指導の仕方があるのか。

#### 岡崎教育長

道徳の授業で、そういったものを取り上げることもある。また、色々な行事のなかで、そういったことが見受けられたら、問題として取り上げ、指導している。

## 秋山委員

LINEはグループができると、なかなか抜けられないようである。自分の意志が発言できることが、これから大事になる。

思いやりの心を持たせる道德教育が重要になると思う。

学校にいった時に、落とし物をよく見かける。物を大切にしている子どももいる。やはり、教員の指導の成果かと思う。

## 前田委員

ずっと前から感じているが、学級での朝の会、終わりの会で担任が、ただその日の行事を言って終わりにしてしまう。子どもたちは担任を見ている。もう少し、担任の思いや願いを、子どもたちに出していいのではないかと思う。機械的に、職員室の伝達だけをして終わってしまう。ちょっとした時間を利用して、子どもたちに直して欲しいというところがあれば、担任がしっかり教えるべきだと思う。言うことによって、子どもたちが気づくこともある。

## 井上委員

P T Aでこういった話をしたことはないと思う。年に1回は、どこの学校でもP T A総会があるが、こういったことが議題に上がらない。もう少し、学校側からP T Aを通じて、議題として話ができるようにしてもらおうと、少し違ってくると思う。

## 岡崎教育長

P T A総会や学級P T A活動で、こういった話ができると変わってくると思う。

## 金子委員

物を大切にしないというのは、現場にいたころから思っていた。学級で落とし物があっても。誰のものか分からないこともある。経済的な切実感が子どもも親にもないような気がする。傘なんかもたくさん持っている。

子どもたち同士のやりとりが辛辣だと感じる。低学年から厳しい場面を見ることがあった。相手の思いを実感として持つような場面が、学校や家庭でも少なくなってきたような気がする。担任が学級のなかで、小さな変化を見過ごさないで、子どもたちに伝えていくことが必要だと思う。担任は、学級通信をとおして、学級の様子を保護者へ開いていかなければと思う。両輪となってやっていかないと難しいと思う。

## 岡崎教育長

終わりの学活で、今は連絡事項を言って終わりになっているようなところがあるが、昔の担任は訓示めいたことを話していたような気がする。

## 長谷川学校教育課長

自分が感じていることを子どもたちと共有するために話していた。子どもたちの姿だけでなく、社会全体で感じていることを話していた。子どもたちと一緒に考えることが必要だと思う。そういったことを積み重ねていくことが、心を育てていく意味では、大事と思う。

## 前田委員

終わりの学活の後、部活に行く前に5分間程度、子どもたちは教室にいる。そのときの様子を見てみると、子どもたちの状況がよく分かると思う。教員も忙しいとは思いますが、すぐに職員室に帰るのではなく、教室に残って子どもたちを見ると、違った面も見えてくると思う。

## 岡崎教育長

また、計画訪問等、機会をみて学校の先生方に伝えていきたい。

## 岡崎教育長

続いて、協議・報告を各課から求める。

## 千々松教育総務課長

教育総務課に関する事項として次の2点について協議報告する。

- ・行政視察の受入について

11月18日（金） 庄原市

学校適正規模・適正配置

学力向上対策（アクティブラーニング 大嶺小）

- ・総合教育会議の開催について

総合教育会議は、市長という執行機関と教育委員会という執行機関、二つの対等な執行機関の協議・調整の場という位置づけになる。市長は、予算の編成・執行や条例案の提出を通じて教育行政に大きな役割を担ってる。市長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、教育行政を推進していくため、平成26年地教行法の改正により平成27年度から総合教育会議が設置されることとなった。昨年度は2回開催された。この総合教育会議は市長が設置して市長が招集する。構成員は市長と教育委員会になる。総合教育会議では、必要に応じて関係者や学識経験者から意見を聴くことができるとなっている。また、会議は、原則公開である。この中で話し合う事項は、①教育行政の大綱の策定、②教育の条件整備など重点的に講ずべき施策、③児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置である。逆に総合教育会議において協議できないこととしては、教育委員会制度が設けられた趣旨に鑑み、教科書採択、個別の教職員人事等、特に政治的中立性の要請が高い事項については、協議題とするべきではないと考えられている。大綱については、市長の任期等を踏まえ、4～5年に1回作ることを国は想定している。②③は、必要があれば開くという性質のも

のである。この総合教育会議については、議事録の作成と公表について努力義務が課せられており、市のHPにより議事録の公表をしている。また、総合教育会議の開催についてもHPで周知している。この事務局については、市長部局が原則ではあるが、地方自治法のなかには補助執行という規定があり、現在、教育委員会が補助執行している。大綱は、教育の目標や施策の根本的な方針であり、国の教育振興基本計画を参酌して定めることとされている。大綱に記載する事項は、各地方公共団体に委ねられているが、主として、学校の耐震化、学校の統廃合、少人数教育の推進、総合的な放課後対策等が考えられる。美祢市は、平成25年3月に美祢市教育振興基本計画を策定している。この計画の目標や施策の根本となる方針の部分が大綱に該当すると考えられることから、昨年（平成25年）の第1回の総合教育会議で、市長が、この計画をもって大綱に代えることと判断をされている。

今年度第1回目の総合教育会議が、11月21日（月）、午後1時30分から開催される予定である。

#### **長谷川学校教育課長**

学校教育課に関する事項として次の3点について協議報告する。

- ・学校状況報告書について
- ・小学校体育祭について
- ・中学校文化祭・小学校音楽祭について

#### **古屋生涯学習スポーツ推進課長**

生涯学習スポーツ推進課に関する事項として次の6点について協議報告する。

- ・美祢カルスト子ども映画祭について  
25作品の応募、約100人の参加  
本大会 11月26日 北海道北見市
- ・市民体育祭（ニュースポーツフェスティバル）について  
約350人の参加
- ・美祢秋吉台カルストウオークについて  
約600人の参加
- ・生涯学習フェスタオープニングについて  
10月29日
- ・人権教育ふれあい講座について
- ・大嶺地区人権教育総合推進大会について

#### **井上文化財保護課長**

文化財保護課に関する事項として次の3点について協議報告する。

- ・銅山まつりにについて
- ・山口県埋蔵文化財センター巡回展「発掘された山口」について
- ・長登銅山跡調査及び整備委員会について

#### **神田世界ジオパーク推進課長補佐**

世界ジオパーク推進課に関する事項として次の1点について協議報告する。

- ・ Mine秋吉台ジオパークセンター「カルスター」について

関係者の協力により、改修工事が11月21日に完了し、12月3日の供用開始を予定している。9月議会において、設置条例や運営経費等にかかる補正予算が可決され、順調に準備が進んでいる。11月末から世界ジオパーク推進課が「カルスター」に移転し、そこを拠点に仕事を始めることとしている。

12月3日は、マスコミを呼んでテープカットなどのオープン式典を行うこととしている。式典には教育委員の皆さんを御案内するので、新しく生まれ変わった秋吉台の癒しの空間を是非見に来ていただきたい。式典は午前10時から12時を予定している。

#### **神田世界ジオパーク推進課長補佐**

秋吉台科学博物館に関する事項として次の1点について協議報告する。

- ・ 山口大学サイエンスサテライト（仮称）について

世界ジオパーク推進課が抜けた場所は、山口大学のサイエンスサテライト（仮称）の事務スペースとなる予定で、現在、大学と調整中である。山口大学サイエンスサテライトの構想は、山口大学理学部を中心に取り組みを進めてきたジオパーク活動がきっかけとなって実現したものである。秋吉台地域を活用した学生の野外実習授業や市民を巻き込むサイエンスイベントの実施などにより、研究・教育・観光が調和したまちづくりに貢献することを目的とし、今年度中にシステムづくりを済ませ、来年度から活動がスタートする予定である。これまで以上に、若者（学生）が秋吉台地域を中心に活動することによって、地域が活気づくことを期待している。詳細が決まり次第、再度報告する。

#### **井上委員**

「カルスター」の位置図について、検討願う。

#### **神田世界ジオパーク推進課長補佐**

課内で検討してみる。

#### **石川美東事務所長**

美東事務所については、特になし。

#### **金子事務局長**

秋芳事務所については、特になし。



## 岡崎教育長

市町村教育委員会研究協議会（分科会）についての報告は12月の定例教育委員会会議で行うこととし、次の意見交換は、1月の定例教育委員会会議で前田委員が行うこととする。

次回の定例教育委員会会議を平成28年11月21日（月）午後3時00分から美祢市役所3階「委員会室」において開催する旨を告げる。

午後2時35分委員会の終了を告げる。

平成28年10月26日